

# WEEKLY REPORT

例会日 木曜日 12:30~13:30  
例会場 上野精養軒 TEL.03 (3821) 2181  
事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-1-5 A ビル 6F  
TEL.03 (5637) 4602 FAX.03 (5637) 4611  
<http://www.tokyo-kohoku-rc.org>



葛飾北斎描く千住より眺望の富士

## 東京江北ロータリークラブ

会長 渡邊浩 / 会長エレクト 張替俊光  
幹事 影山幸一郎 / 副幹事 中山高德  
会報・IT委員長 原田寛



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

親睦がつなぐ笑顔。  
そして、回復への支援。

**SERVE TO  
CHANGE LIVES**

RC会長  
渡邊 浩

RI会長  
シエカル・メータ

第 2954 回 2022 年 5 月 12 日

Rotary Rate 130 円

### 2022 年 4 月 28 日 第 2953 回例会報告

#### 点 鐘

ロータリーソング 「それこそロータリー」

#### 来 賓

- ゲスト  
木村美和子先生 (ゲストスピーカー)
- ビジター  
なし

#### セ レ モ ニ ー

- なし

#### 会 長 報 告

- ロータリー財団の現状、寄付金の使用用途をご報告させていただきます。4月5日時点、各国の地元ロータリアンたちは寄付金を用いて、避難民の為の食料、宿泊場所、医療物資、医療援助。新しい生活に適應するための支援やメンタルケア、支援物資の荷下ろしと手伝い。避難民への支給の他、病院に薬品、除細動器、変電装置、酸素濃縮器など医療物資・医薬品を購入及び配達。などを行っているとの事です。

#### 幹 事 報 告

- 5月10日(火)15時~17時  
ワークショップ「女性の活躍とロータリーの未来」締め切り5月2日まで延長。

#### 委 員 会 報 告

- インターアクト委員会…本日16時より潤徳インターアクトクラブの例会 ぜひご参加ください。
- ロータリー情報委員会…家庭集会 日程調整し、グループリーダーよりお知らせします。
- 親睦活動委員会…6月12日、13日の親睦ゴルフ会 現在参加者:12日(10名)13日(12名)本日締め切り。

出 席 報 告 会員46名中37名 出席率80%  
Remote 4名

前々回の出席率 89.13%

#### ニコニコ (● ^ o ^ ●) ボックス

- お誕生日祝 …中山君
- 奥様お誕生日祝 …川村君 中山君
- 結婚記念日祝 …張替君 鈴木(又)君  
…吉田(正)君 成田君  
…高橋(秀)君
- 渡邊会長 影山幹事…木村美和子校長先生、本日はようこそ東京江北RCへお越しくございました。この後のご講話楽しみにしております。皆様ゴールデンウィークはコロナに気を付けてお過ごしください。楽しい休日。

THE ROTARY CLUB OF TOKYO-KOHOKU

- **樽澤君 ベルマン君**…木村顧問、ようこそ、いらっしゃいませ。
- **長谷君**…教え子がバルセロナで行われたマリアカナルス国際ピアノコンクールで3位に入賞しました。そして5月22日にNHKで、N響との公演が放映されます。
- **高橋 (秀) 君**…今春、娘が高等学校に進学しました。ついにJKです。皆さん、年頃の娘を持つ親の心構えを教えてください。潤徳女子高等学校の木村校長先生、本日の卓話、宜しくお願いいたします。
- **成田君**…結婚記念日すっかり忘れてました…ロータリー最高!!

合計 52,000 円 累計 1,589,198 円

## 卓話



4月28日(木)の卓話は、潤徳女子高等学校長 木村美和子先生より「高等教育の現状について」という演題でお話いただきました。

紹介者 鈴木又右衛門君

創立当初は女学校という事で女子教育だったけれども時代と共に女子教育も変わり、社会が求める人材像も変わってきたことで、これに対応した授業内容や指導も考えていかねばならない。

平成30年、教育界では激変の年であった。今の大学2年生が大学入試改革の一期生であるが、その一期生が入学する年だった。我が校は、この年に福祉進学コース募集停止。ノウハウを生かしてグローバル教育を開始し、サーフェス go を一人一台用意。これが功を奏して令和2年には生徒全員がサーフェスを持っていたため、アプリなどを使用しオンライン授業を行うなどコロナ禍の環境にも対応することができた。

近年、資格試験もネット試験など、コンピューターを使用して試験を受けることができるが、大学入試も近い未来、筆記ではなくキーボード入力スタンダードの時代になる。その未来を見据え現在は授業でタッチタイピング練習も行っている。この先さらにAI化が進むと、難しい問題ができる子にはそれなりのAの問題を、できない子には

それなりのBをとったような枝分かれした出題形式になっていくと考えられている。

今の人生100年時代、大学に行かないとなかなか生き抜くことは難しい。単に大学行けといっても、生徒の理解は得られないため、全校生徒600名1年かけて面談など生徒一人ひとりに寄り添い指導している。

本校の取り組みとして、3つ。①大学進学に導く(面談、ポートフォリオ作成、現役大学生サポート等) ②基礎学力を身につける(授業改革、タブレット学習、英語力) ③独自のグローバル教育(話す力、聴く力、ともに生きる力)に注力している。その中の一つとして、ユニバーサルフォレスト。

(独自のグローバル教育) グローバル=英語力ではなく、現代社会の諸問題を主体的に解決しようとする力を育てる教育である。例えば、なぜ虐待が起きるのか?と考える時に、虐待する側にもいろんな理由があることを知る。そうすると、ただ保育士になりたい!と言っていた子が、保護者の気持ちにも寄り添えるような保育士になりたいという気持ちの変化が起こる。様々な文化と背景を持つ人と共に生きる共生のためのコミュニケーションを育てる。

先生が講義するということが減ってしまった、というのが今の感想であるが、生徒に寄り添い個々の強みを生かしていきたいと思う。

## ウクライナ支援金

2022年3月3日から4月30日までにロータリー災害救援基金に寄せられたすべてのご寄付は、ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援が行われている地域への人道的救援活動に優先して活用されています。

現在までに、この戦争による被災者支援のために、74件の災害救援補助金(総額210万ドル)が授与されています。ロータリー財団は引き続き、この寄付をウクライナとその周辺地域での人道的救援活動に活用していきます。地区は2022年6月30日まで、この目的のために災害救援補助金を申請できます。5月1日以降の災害救援基金へのご寄付は、復興援助を必要とする全世界の被災地で活用可能となります。

当クラブ31名より27,434ドル48セント、日本円で3,182,400円をロータリー財団 災害救援支援金として送金しました。

### 本日の卓話

クラブ協議会

### 次週卓話予定 5/19

「足立区のコト・モノ・ヒト」

フリーライター・編集者/

足立区シティプロモーション課 舟橋左斗子氏

紹介者 大林君

## ロータリーのネットワークがウクライナ難民に迅速な人道支援

ウクライナでの戦争により、民間人の避難が余儀なくされ、深刻な人道的影響が出ています。国連によると、**500 万人以上**（その大半は女性と子ども）が近隣諸国とヨーロッパ全域に避難し、ウクライナ国内の避難民も約 700 万人に上っています。

難民に食糧、水、医療、シェルターを提供するため、欧州や世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブが、周辺地域の会員とともに迅速に支援活動に乗り出しています。

世界中からの温かいご支援のおかげでロータリー財団に 1,310 万ドル以上のご寄付が寄せられ、この資金は災害救援補助金として優先的に活用されます。

以下に、4月20日時点での最新のプロジェクトをいくつかご紹介します。

### ウクライナのロータリークラブによる活動

- チェルカシィ・ロータリークラブは、地元の複数の病院のために医療物資と医薬品を購入・配達しました。クラブはまた、スムイ、ヘルソン、ハリコフ、チェルニヒウから避難してきた 250 家族のために毎日の食事を手配しました。
- ハリコフ・インターナショナル・ロータリークラブの会員数名は、国境を接する国に赴き、避難民たちが新しい生活に適応できるよう援助しています。これらの会員はまた、Yellow Help プロジェクトを通じて紛争地域の家族たちの避難を援助しています。
- キーウ・シナジー・ロータリークラブは、イタリアから 350 箱分の医療物資を調達し、キーウとスムイに配達しました。
- キーウ-ソフィア・ロータリークラブは、キーウとイルピン-ブーチャの住民たちに温かい食事を準備し、届けています。会員たちは、衛生用品と医薬品を購入し、若い母親や高齢者に配りました。
- リヴィウ・ロータリークラブの会員は、欧州諸国から届いた救援物資の荷下ろしと整理を手伝い、ウクライナ各所の救援物資収集場所に届けるための手配を行っています。

### そのほかのロータリーの活動

**第 2231 地区(ポーランド)のクラブ**は、50,000 ドルの災害救援補助金を活用して、ウクライナから逃れてきた難民に移動手段、宿泊場所、食料、医療援助を提供しています。

**第 2240 地区(チェコ共和国)**は、被災者のために寝袋、医薬品、食料、除細動器、心電図装置、酸素濃縮器など 5 万ドル相当の物資を購入しました。

**ドイツの地区ガバナー**は、会員による取り組みやオンラインでの支援活動の調整にあたる全国規模のタスクフォースを設置しました。政府機関や非政府組織との窓口となるタスクフォースの事務局は、ベルリンに設置されています。

### フランス全土のロータリークラブが

力を結集して、難民のための必要物資の収集と配布にあたっています。国内のクラブから寄せられた寄付と物資は、地区ガバナーが取りまとめ、ウクライナのロータリークラブの支援のほか、ポーランドとルーマニア経由でやってきた難民の支援や、これらの国にいる難民のフランス移送などに役立てています。ニーズの特定は、フランスがかかわる複数の国際共同委員会が行っています。

**第 1910 地区(オーストリア)**は、25,000 ドルの災害救援補助金を活用してオーストリアに逃れてきたウクライナ難民のために、宿泊場所、ベビー用品、医薬品、衛生用品、心のケア、食料、電化製品などを提供しています。



クラゲンフルト-ヴェルタージー・ローターアクトクラブ (オーストリア) の会員は、ウクライナ避難民を援助するために医薬品、食料、寝袋、発電機を集め、ポーランドとウクライナの国境に届けています。

## 欧州のローターアクト

欧州全域のローターアクトのための多地区合同情報組織「欧州ローターアクト情報センター (European Rotaract Information Centre)」は、難民とボランティアのための情報をまとめたサイト「United for Peace」(平和のための団結)を開設しました。

このサイトには、難民が利用できる無料の鉄道、バス、航空機に関する情報に加え、必要とされている支援や物資、各国境地域での支援方法のリストが掲載されています。

サイトにはそのほかに、ウクライナ西部の都市リヴィウの病院や、各地で支援を行っているクラブ、地域の他団体のための募金の詳細も掲載されています。

サイトは、国境で行き場をなくしている難民のための避難所をローターアクトが手配するのにも役立っています。難民の宿泊のために自宅を提供できるボランティアは、オンラインフォームから登録し、宿泊できる人数と期間を指定できます。当初、このサイトはウクライナを逃れるロータリー会員を援助するための取り組みとして開設されましたが、現在は、援助を申し出る欧州全土のロータリー会員によって利用されています。

必要とされている物資と寄贈物資をつなげる役目を果たしているこのサイトは、緊急のニーズを満たす方法について 10 カ国、60 人のチームがビデオ会議で協議してから 48 時間以内に立ち上げられました。

## ウクライナ

ウクライナには 62 のロータリークラブと 6 の衛星クラブがあり、その会員数は約 1,100 人です。また 24 のローターアクトクラブがあり、その会員数は 300 人以上です。

**第 2232 地区(ウクライナとベラルーシ)**は、この危機の影響を受けた人びとを支援するための委員会を結成しました。委員会は、生活必需品を確保するための募金に乗り出し、世界中のロータリー会員に支援を呼びかけています。リヴィウ市には、ウクライナの他の都市からの避難民が流入しています。

**リヴィウ・インターナショナル・ロータリークラブ**は、地方自治体や主要病院と協力して、避難民がアクセスできる救援物資のオンラインスリストを作成しました。寄贈物資を病院に届け、

現地の倉庫で保管するための手配は、会員たちが行っています。

## ポーランド

ポーランドは 100 万人以上の難民を受け入れており、国内のロータリークラブが寄付の窓口となる口座を開設しました。

**オルシュティン・ロータリークラブ**は、地元市民センターに設置された難民キャンプに滞在する 150 人以上のウクライナ人のために寄付を集めました。難民の多くは、ウクライナにいる親元を離れてやってきた身寄りのない子どもたちです。センターが難民の受け入れを開始してから数時間以内に、食料、衣類、洗面用品、おもちゃなどの物資をいっぱい積んだ 4 台の車が寄贈されました。

**ザモンチ・ロータリークラブ**は、医療用品の流通会社を運営するボルシュティン・ロータリークラブの会員と協力して、物資や医療用品を集めるために他団体との連携を手配しました。

**グダニスク・セントラム・ロータリークラブ**は、難民である 4 家庭に宿泊施設を提供し、会社経営者である会員たちがこれらの家族に仕事を提供しています。

## ウクライナと国境を接するそのほかの国

ハンガリーのキシュバールダ・ロータリークラブは、募金を取りまとめ、会員総動員で生活必需品を寄贈し、難民たちに届けています。ルーマニアとモルドバのロータリー会員は、寄付の窓口となる基金を設置し、食糧の寄贈や難民の宿泊手配を行うための WhatsApp グループを立ち上げました。スロバキアとチェコ共和国では、クラブが鉄道・貨物会社と提携し、約 2,300 人の難民の移動手段を提供しています。

執筆協力: Kim Widlicki, Claudia Brunner  
My Rotary 国際ロータリー記事より

ロータリー会員による人道的支援の最新情報は、[Twitter \(英語\)](#) / [Twitter \(日本語\)](#)、[Facebook \(英語\)](#) / [Facebook \(日本語\)](#)、[インスタグラム](#)、[LinkedIn](#) をフォローしてご覧ください。また、[Rotary.org](#) と [My ROTARY](#) にも随時、最新情報が掲載されます。